



2025-26 年度
福山西ロータリークラブ

例 会 情 報

第 1631 回 (15)

会 長 河 村 直 孝 幹 事 小 林 崇



クラブ会長テーマ
「明るく楽しくみんなで奉仕」

日 時 2025 年 11 月 11 日 (火) 12:30 ~
場 所 福山ニューキャッスルホテル
例会行事 点鐘・ソング「我らの生業」
ゲスト・ビジターの紹介（出席報告参照）
会長報告
幹事報告
出席報告
S A A 報告
スマイル報告
プログラム情報
その他報告

その他情報 メークアップ情報（来週分）
メークアップ情報（再来週分）
今後の行事予定
クラブ活動報告



**UNITE
FOR
GOOD**

【会長報告】



皆さんこんにちは。

本日は「AI ロボットと私たちの社会」についてお話ししたいと思います。

先日、業界の講演会でフューチャリストの友村晋人型ロボットの未来というお話を聞いてきました。既にアメリカでは、テスラ社の工場で人型のロボットが製造ラインで働いているとか、アメリカでは自動運転のタクシーが走っているとか5年後には、町中をロボットが歩いているとか。

近年、AI やロボット技術は急速に進化しています。ニュースでは、会話ができるロボット、画像を読み取って判断するシステム、さらには人間のように歩いたり運転したりする機械の映像を目にする機会が増えました。

ここで大切なのは、AI ロボットは「人間の代わりになる存在」というよりも、「人間の能力を拡張する存在」であるという視点です。

たとえば医療の現場では、AI が画像診断を補助し、早期発見を助けています。工場では精密作業をロボットが担うことで、人はより創造的な作業に時間を割くことができるようになりました。農業や介護の分野でも、すでに実用化が進み始めています。

AI ロボットが広まると、「仕事が奪われるのではないか」という不安の声が出ます。しかし歴史を振り返ると、新しい技術は常に人の働き方を変えながらも、最終的には新しい産業や役割を生み出してきました。

大事なのは、「技術に使われる側になるのではなく、技術を使う側に立つ」ことです。

ロータリーの理念の一つに「超我の奉仕」があります。

AI ロボット時代における「奉仕」とは、人間にしかできないこと

——つまり、思いやり、倫理、判断、コミュニティへの関わりを、これまで以上に大切にすることではないかと考えています。

AI は計算し、分析し、最適化することはできます。しかし「人を励ますこと」「誰かを気にかけること」「信頼関係を築くこと」は、私たち人間だけにできることです。

これからの中では、テクノロジーを上手に活用しながら、人が果たすべき役割をより深く意識することが求められます。ロータリーが長年培ってきた「人と人をつなぐ力」は、AI 時代にこそ価値を發揮すると確信しております。

本日は以上です。ご清聴ありがとうございました。

【幹事報告】



No.	内 容
1	第 2710 地区事務局より ・2028-29 年度ガバナー推薦について
2	鞆の浦 RC・福山北 RC より ・鞆の浦 RC・福山北 RC 合同 ロータリー奉仕デーへの参加のお願い
3	

【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】



《 国際奉仕委員会担当 ゲスト卓話 》



本日の例会は国際奉仕委員会の例会行事となっています。

NGO スナーダイ・クマエのメアス・博子様の卓話と支援金の贈呈式となります。

カンボジアの児童養護施設「スナーダイ・クマエ」は虐待、児童労働などを含む貧困かつより困難な状況に置かれる子どもの養育とその運営をされています。

政府への登録を済ませても補助金は一切なく、日本、欧米からの支援金と日本での子どもたちの絵画展開催（藤沢市、和歌山市、神戸市）の収益で運営されています。

その活動はテレビなどでも取り上げられています。

私達は昨年に引き続き、11月8日（土）に神戸市甲南大学内甲友会館で開催されましたカンボジアの児童養護施設「スナーダイ・クマエ」の絵画展に4名（会長・国際奉仕委員）で訪問させて頂きました。メアス・博子様より現在に至るまでの施設運営について細かくご説明して頂き大変感銘を受けました。そして今回、購入した絵画・カレンダーは全会員の方にチャリティ例会の際に購入して頂く予定です。

2000年頃の最初期はグラウンドは荒れ果て整備されておらず子ども達もレンガで殴り合いをするなど劣悪な生活環境でした。そしてメアス・博子さんがひとりで始めたごみ拾いが全ての始まりであり現在の施設運営の理念の原点となっています。

今では草木が生え敷地内には建物も建築され見違える様に綺麗になりました。

そして児童養護施設では基本的な生活習慣を身につけること、子どもの時に信頼し合って過ごした経験を持つことが自立のために重要な要素とのことでした。

今回、運営理念の原点である掃除道具などの購入費用の一助となればと思い支援させて頂くことと致しました。最後に当クラブには個人的に支援されている方もおられます。貴重なお話を伺えたことに感謝し次年度もクラブとして継続して支援をしていく頂ければと思います。

福山西 RC 国際奉仕委員長

塩川 裕樹



児童養護施設 NGO スナーダイ・クマエ
副代表 メアス 博子 様



ABOUT ME

めあす

萌 崇 博子



甲南大学 経営学部卒業
学生時代は器楽体操部のマネージャー

趣味は読書、映画鑑賞、料理

出かけるよりもインドアが好き
カンボジアにいるときは子どもたちが
いる空間で過ごすと心が落ち着きます

1

PERSONAL HISTORY



2

MEDIA



- 2001 日本テレビ「東京日記」
TBS「東京アルバム」秋篠宮眞紀子様ご訪問
2003 テレビ朝日「ボカボカ地球家族」
2009 よみうりテレビ「グッと! 地球便」
2011 テレビ東京「日曜ビッグバラエティ 3時間スペシャル」
2012 BS-TBS「未来へのおくりもの」
子どもたちを支援するために世界で活動する日本人スペシャル
テレビ東京「日曜ビッグバラエティ」
NHK-BS1「ほっとゆアジア」「Hello@アジア」
2013 テレビ知恵山「ゆあっとテレわか」
NHK和歌山放送局「あずのWA さらり紀州人」
2015 腰元テレビ「グッと! 地球便 1時間スペシャル」
テレビ東京「世界ナゼそこに?日本人 2時間半スペシャル」

3

WEB MEDIA



4

MESSAGE



現在の姿からは想像できない
かつての施設の環境、多くの
の方々に支えられて整備
されていった施設、現在のス
ナーダイ・クマエの理念が
で
き
て
い
く
通
程
を
お
伝
え
す
こ
と
で
、
今
回
の
ご
支
援
の
大
き
な
意
義
を
皆
さ
ま
に
感
じ
て
い
だ
さ
き
た
い
と
考
え
て
い
ま
す。

5

2000年

メアス博子施設運営に参画

6



最初期のスナーダイ・クマエ児童養護施設

7

劣悪な生活環境

生ごみが散乱、ハエが飛び、
子ども達は
落ちているレンガで殴り合い
お互に関心がない

8

耕しの時

やっている姿を見せていく

9

種まき

11



敷地に植えるための苗木も自分たちで増やしました

13



みんなの居場所づくりが始まります

15

ひとり始めたゴミ拾い

ゴミ拾いが
すべての出発点

自分以外にやる人はいない

10

日本人への好奇心から

ゴミ拾いを手伝う
子どもがひとり、ふたりと
現れて

12

芽吹き



14

ゴミを燃やす時間のこと

日中は暑いから
早朝に作業しようよ！

16

「時間割」ができました

生活が整っていきます

現在の規則正しい生活への
第一歩

17

さらに思いました

そして学んだことを、
みんなで
分かち合えばいい

同じ場所で生きている仲間という意識

19

私は思いました

できないのではなく知らない、
やったことがないんだから
方法を伝えればいいんだ

18

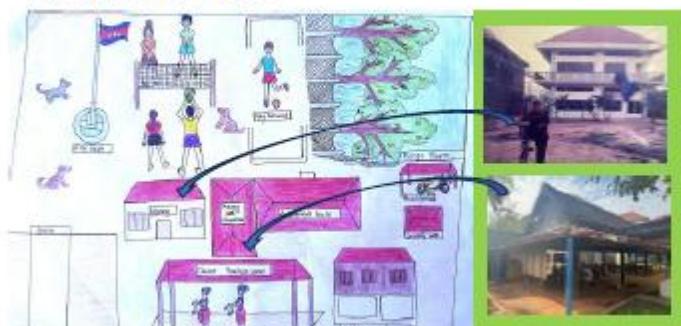
成長

環境整備と教育整備



20

敷地内の絵地図



21

22

学校教育・自習サポート



集団登下校



自習時間

自立のためのスキル教育



日本語教室



パソコン教室



英語教室

23

24

情操教育



伝統舞踊教室



絵画の時間



スケボー教室

年中行事



お正月お供え準備とお祈り



水遊びボートレース販賣



お盆用ちまき作り

25

26



基本的な生活習慣を身につけること



子どものときに人と信頼し合って過ごした経験をもつこと

自立のために重要な要素だと感じます

かつて殴り合いのケンカで使われたレンガは



27

花壇の縁になりました



28

レンガで造ったスペースは遊び場に

お絵かきスペースにもなりました



29

30

生きるチカラ

身につけた基本的な生活習慣
は、どこへ行っても
誰にもとられることはないのです

教えて
もらったことを
次の幼い子に
教える
自然にできた
流れ

31



32

他の人の喜びを
自分の事のように
共有できるのは



33

豊かな心が育まれている
証拠ではないかと思います



34

みんなを
誇りに思う

他人のことを
心から喜ぶことが
できる子どもたち
を誇りに思う



35



私たちのかけがえのない日常です

36

卒院したら一人で生活する



37



人生は自分の手で
作っていくけれど、
この日々の事を
思い出して、
がんばってほしい

38



39

『いっしょに
行こう』
ラタナー
2017年

実りの時

向こう側を見る楽しさ



40

before



2000年当時の施設

after



41

before



創立時に高床式の小屋で暮らした少年

after



子どもだったそのラーゴは今や施設代表に

42

卒院したラーゴの言葉

スナーダイ・クマエは
外の社会と全然違う、
自分たちは、ここで守られていた

43

代表になったラーゴの言葉

人に助けられて生きてきたので
今度は「自分の番」です。
結局それは自分に戻ってきて
そしてそれは温かいものです。

44

代表になったラーゴの言葉

受けたことは、
次の人にやってあげればいい。
これはお母さんの言葉でもあり
教育でもありました。

45

before



パナ(2010年卒)

after



2016年新婚
女子2人のパパ

日本語ガイド歴15年のベテラン

Before



サイラー(2012年卒)

after



社会人になってからは頻繁に
子ども達に差し入れを

2024年 結婚
2025年 第一子誕生

46

47

Before 三兄妹



after



高校卒業後、ホテル(兄2人)、レストラン(妹)スタッフとして貢献しています

48

2025年

これからのスナーダイ・クマエ

49

卒業生が団体運営スタッフに

Before



after



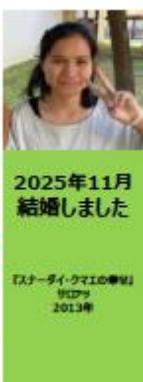
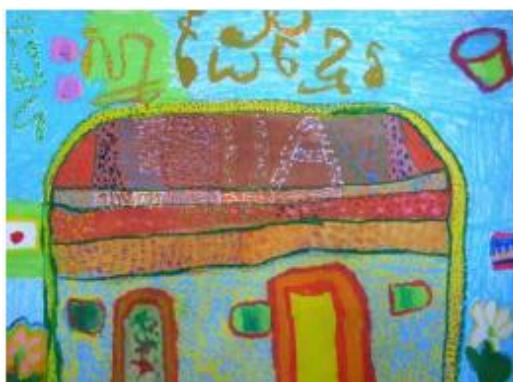
2025年から施設責任者、指導員に

50



『木』
オン
2019年

51



2025年11月
結婚しました

スナーダイ・クマエの妻
サリコ
2013年



2000年のマンゴーの種ひと粒は、25年後に大木になり、おやつがどっさり採れるように！



53



2000年の記念写真から25年後の記念写真
看板は古びたけれど、あのころからの理念はつながっています

54



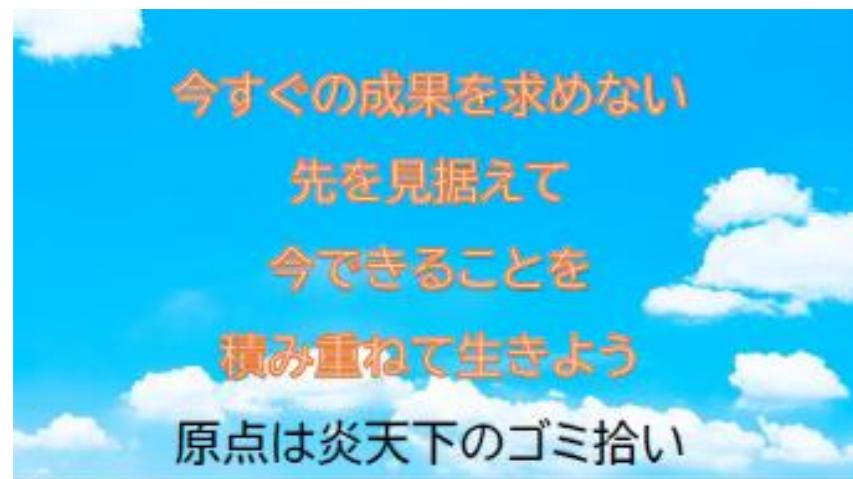
Snadai Khmer
スナーダイ・クマエ

「カンボジア人の手によるもの」という意味

それを実現する日が近づいています



55



2025年2月9日(日) 2024年度支援に関するご視察

2025年度 掃除道具などのご支援 ありがとうございます

【支援金贈呈】



【その他報告】



【スナーダイ・クマエ 儿童絵画展】

日 時：2025年11月8日（土）
場 所：甲南大学 甲友会館（神戸市東灘区岡本8-9-1）
参加者：会長 河村直孝、国際奉仕委員長 塩川裕樹
国際奉仕委員 梶原啓子、国際奉仕委員 三谷篤史



【メアス 博子さまとの交流会】



【誕生日】



《 11月11日生まれ 松本 京子 さん 》
《 11月12日生まれ 尾熊 孝典 さん 》
《 11月17日生まれ 下平 靖孝 さん 》
《 11月17日生まれ 高橋 由倫 さん 》

【 クラブ活動報告】



特にありません。

**UNITE
FOR
GOOD**

2025-26 年度 RI 会長メッセージ